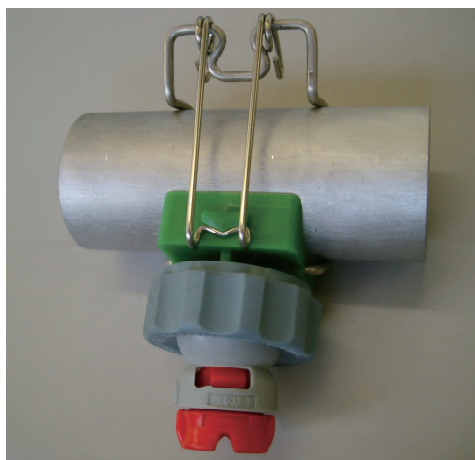


取扱説明書

QB シリーズ



注) 形番により形状、色が異なります。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
安全にご使用いただくため、ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しい操作で弊社製品の性能を十分に発揮させてください。
誤った取扱いが原因で起こされた事故に関して、当社は責任を負いかねます。十分
な理解のもと、弊社製品のご使用をお願いします。
お読みになったあと、大切に保管してください。
品質、性能向上、その他の事情で部品の変更を行うことがあります。その際には、
本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

株式会社いけうち

1. 必ずお守りください(安全上のご注意)

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
正しくお使いいただかないと、ノズルが破損(損傷)して怪我をする恐れがあります。



警告

最高使用圧力(0.4MPa)を超えて使用しないでください。



警告

使用温度範囲(5～80℃)外で使用しないでください。



警告

凍結する環境での使用は避けてください。



警告

規格に合った配管以外には接続しないでください。



警告

水撃作用(ウォーターハンマー)にはご注意ください。
急激な昇圧は避けてください。



警告

スプリングクリップ(取付金具)はしっかり最後まで取付けてください。



警告

キャップが緩んだ状態で水圧をかけないでください。



警告

万が一の事故に備え、ノズルの正面に立ったり、顔を近づけたりしないでください。

2. ご使用いただく前に



注意

ノズル取付け前には、必ず配管のフラッシングなどを実施し管内の異物を除去してください。



注意

ノズルの取付けは、曲がり管、エルボなどの直後は極力避けてください。乱流の発生により、基準性能から誤差が生じる恐れがあります。



注意

使用液によりノズル目詰まりが心配される場合は、ストレーナーを設けたり、水処理を行ったりしてください。



注意

ノズルには傷を付けないでください。
ノズルチップ噴口部を硬いもの(釘、針など)でつつかないでください。



注意

ノズルに衝撃や強い力を加えないでください。
樹脂製スプレーノズルは金属製などとは異なり破損しやすい製品です。



注意

保管するときは、ホコリなどのない清浄な場所に保管してください。



注意

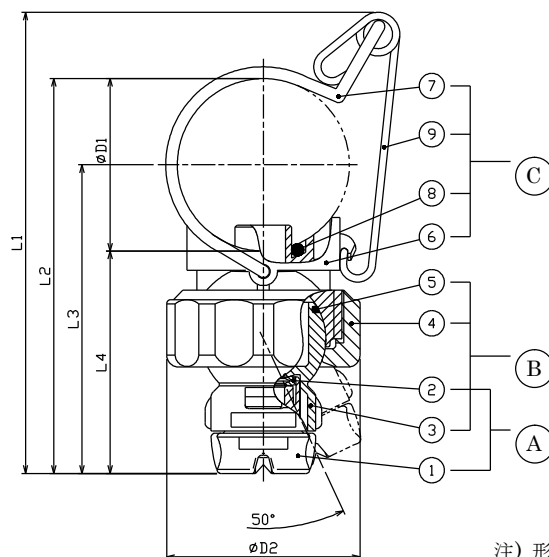
水以外の液を噴霧するときは、ノズルや配管などの材質を考慮した液を使用してください。ノズル材質については P3, 表 1 を参照ください。



注意

本製品はメンテナンスが容易なワンタッチ脱着設計となっております。
脱着手順を十分理解したうえでご使用ください。

3. 構成・寸法・質量



注) 形番により形状が異なります。

表 1. 構成・材質

		No.	名称	材質 ^{※1}	備考
A	ノズル部	①	ノズルチップ	FRPP	
		②	パッキン	FEPM	
B	ボール部	③	ボールアダプター	FRPP	
		④	キャップ	FRPP	
		⑤	O リング	NBR	
C	アダプター部	⑥	本体	FRPP	
		⑦	スプリングクリップ	S304	
		⑧	O リング	NBR	
		⑨	スプリングロック	S304	オプション

※1 弊社では「ステンレス鋼」を「S」と略記しています。

[例] S303→ステンレス鋼 303

表 2. 寸法・質量

金属配管用

配管サイズ (インチ) ^{※2}	外形寸法(mm)						質量 (g)
	L1	L2	L3	L4	øD1	øD2	
1	105	89	72	55	34	48	61
1*1/4	114	98	76	55	42.7	48	
1*1/2	120	104	79	55	48.6	48	
2	132	116	85	55	60.5	48	

※2 JIS G 3459(SUS 配管)に準拠した配管にご使用ください。

PVC 配管用

配管サイズ (呼び径) ^{※3}	外形寸法(mm)						質量 (g)
	L1	L2	L3	L4	øD1	øD2	
25A	103	87	71	55	32	48	61
30A	109	93	74	55	38	48	
40A	120	104	79	55	48.6	48	
50A	132	116	85	55	60.5	48	

※3 呼び径 40A、50A はそれぞれ、金属配管用の 1*1/2 インチ、2 インチと共用です。
JIS K 6742(PVC 配管)に準拠した配管にご使用ください。

4. ご使用方法

(1) 取付配管

JIS G 3459(SUS 配管)、JIS K 6742(PVC 配管)に準拠した配管をご使用ください。

表 3. 配管径の規格参考値

材質	SUS		PVC	
規格	JIS G 3459		JIS K 6742	
種類	SUS-HTP・TP SGP(JIS G 3452)		VP 管・HIVP 管	
サイズ	1	34.0±0.5	25A	32.0±0.2
	1*1/4	42.7±0.5	30A	38.0±0.3
	1*1/2	48.6±0.5	40A	48.0±0.3
	2	60.5±0.5	50A	60.0±0.4

(2) 取付方法

- ①配管にφ14.3～14.8(mm)の穴を開けてください。(穴が小さいと正常に取付きません。
また、大きすぎると水もれの原因となります。)
- ②穴のバリは十分に処理してください。(目詰まり、水もれの原因となります。)
- ③穴の廻り(約φ20mm)には大きな面取り、傷などを付けないでください。(Oリングが当たる面のため、水もれの原因となります。)

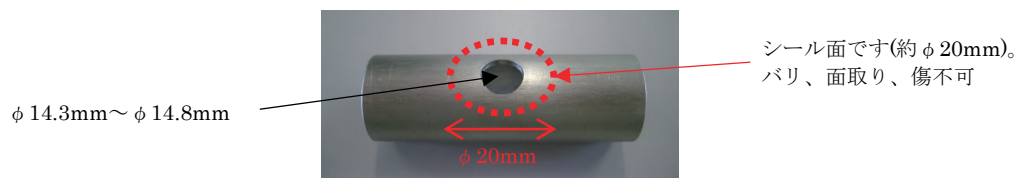


図 1

- ④ノズル取付け前には、必ず配管のフラッシングなどを実施し管内の異物を除去してください。
- ⑤スプリングクリップは配管に最後までしっかり取付けてください。

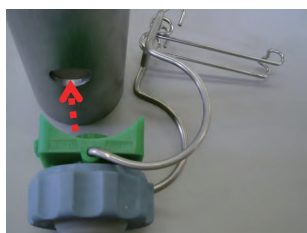


図 2

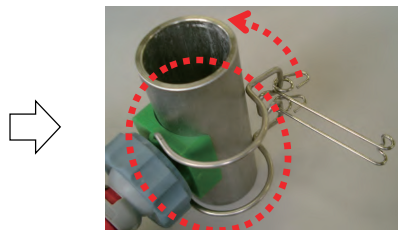


図 3

⑥スプリングロック(オプション)は、カチッと音がするまでしっかり取付けてください。

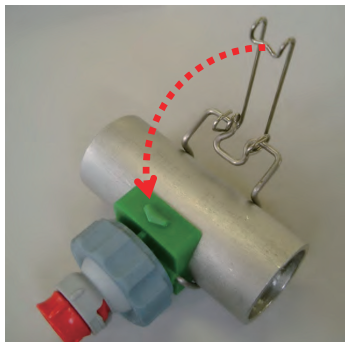


図 4

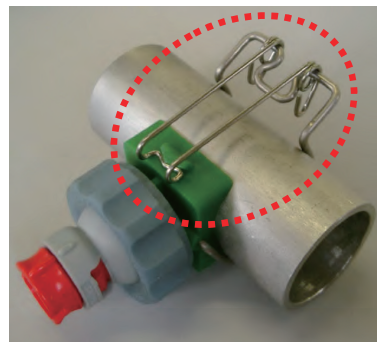


図 5

⑦ポンプ ON 時は低圧運転(0.05~0.1MPa)したあと、徐々に使用圧力に昇圧してください。

(3) ノズルチップの脱着手順

①分解手順

- ①-1. ノズルを噴口側から見て、ノズルチップを反時計回りに約 90° ひねり(図 6)、ボールアダプターより引抜きます。
- ①-2. パッキンは中に指を入れて、摘むようにして引き抜いてください(図 7)。

注)

ノズルチップ、パッキンを外す際に、硬いもの(釘、針など)を使用しないでください。

②組付手順

- ②-1. パッキンを図 7 のように端から挿入し、パッキンとノズルチップが接するまで押込んでください(図 8)。
- ②-2. ノズルチップとボールアダプターの凹凸を合わせてから押込み、ノズルチップを時計回りにパチンと音がするまで約 90° ひねってください(図 6)。

注)

- ・ノズルチップ、パッキンを組み付ける際に、硬いもの(釘、針など)を使用しないでください。
- ・パッキンは奥までしっかり挿入するよう注意してください。シール不良の原因になります。
- ・組付時、ノズルチップのひねりが不十分ですと脱落の原因になりますので注意してください。正しい組付状態は図 9 となります。ボールアダプターとノズルチップのつばを合わせるようにしてください。

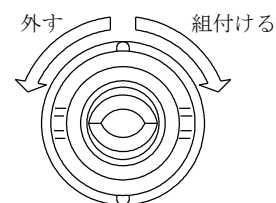


図 6. ひねり方向

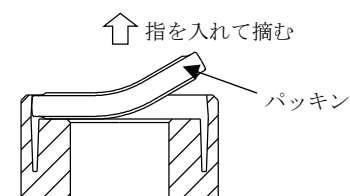


図 7. パッキン取出方法

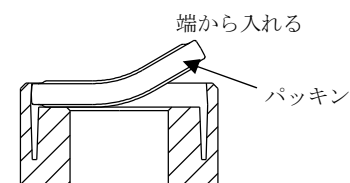


図 8. パッキン挿入方法

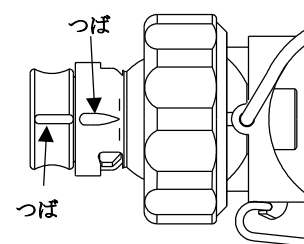


図 9. 組付完成(組付図)

(4) ノズルチップの位置決め方法(噴霧方向の調整方法)

- ①ノズル(噴霧方向)の位置決めを行う前に、必ずポンプを止めてください。キャップが緩んだ状態で水圧をかけないでください。
- ②キャップを少し緩めます。
- ③ノズルチップを付けたまま、ボールアダプターの向きを調整してください。
- ④向きが決まったら必ずキャップを締めてください。(必ず手締めとし、スパナなどの工具は使用しないでください。)
- ⑤噴霧を開始する前に、必ずキャップをしっかり締めてください。

5. 故障かな？と思ったら

ご使用中に異常が生じたら、次の項目をお調べください。
対策を実施しても元に戻らない場合は、ノズルを交換してください。

表 4. 異常状態及び原因・対策

No.	異常状態	原因	対策
1	噴霧しない又はスプレーパターンの異常	圧力不足 ノズルチップ又はストレーナーの目詰まり	配管内圧力を確認のうえ、正規使用圧力にする 洗浄と清掃(超音波洗浄、エアブローなど)
2	配管と本体の間からの水もれ	本体⑥用のOリング⑧がない、 Oリングの損傷 スプリングクリップの異常 取付穴加工の不具合	Oリングを付ける、交換する 最後までしっかり取付ける バリ取り、必要であれば配管の取換え
3	キャップ付近の水もれ	ボールアダプター③用のOリング⑤ない、Oリングの損傷 キャップの緩み、締付け不足	Oリングを付ける、交換する 増締めする
4	ノズル部の水もれ	パッキンがない、パッキンの損傷	パッキンを取付ける、交換する

6. 納入後の保証について

本製品の保証期間は、弊社出荷日より1年です。
明らかに弊社の責任に帰する設計、製作上の原因により不具合が生じた場合、直ちに無償にて交換いたします。
ただし、使用上の誤り、不当な修理、改造、天災などによる場合、及びノズルの目詰まり、摩耗など消耗部品の自然消耗は除きます。